

第3回

三朝町温泉を活用した健康まちづくり事業ワーキンググループ会議

と き：令和5年2月3日（金）

午後7時00分から

ところ：三朝町役場 第2会議室

~~~~~ 日 程 ~~~~~

1 開 会

2 座長あいさつ

3 報告事項

○温泉を活用した健康まちづくり事業基本構想について

資料1 温泉を活用した健康まちづくり事業基本構想（案）

資料2 基本構想原案における事業の方向性の3つの柱

資料3 委員コメントへの対応・検討状況について【温泉部会・健康部会・書面】

資料4 書面であった意見

4 意見交換

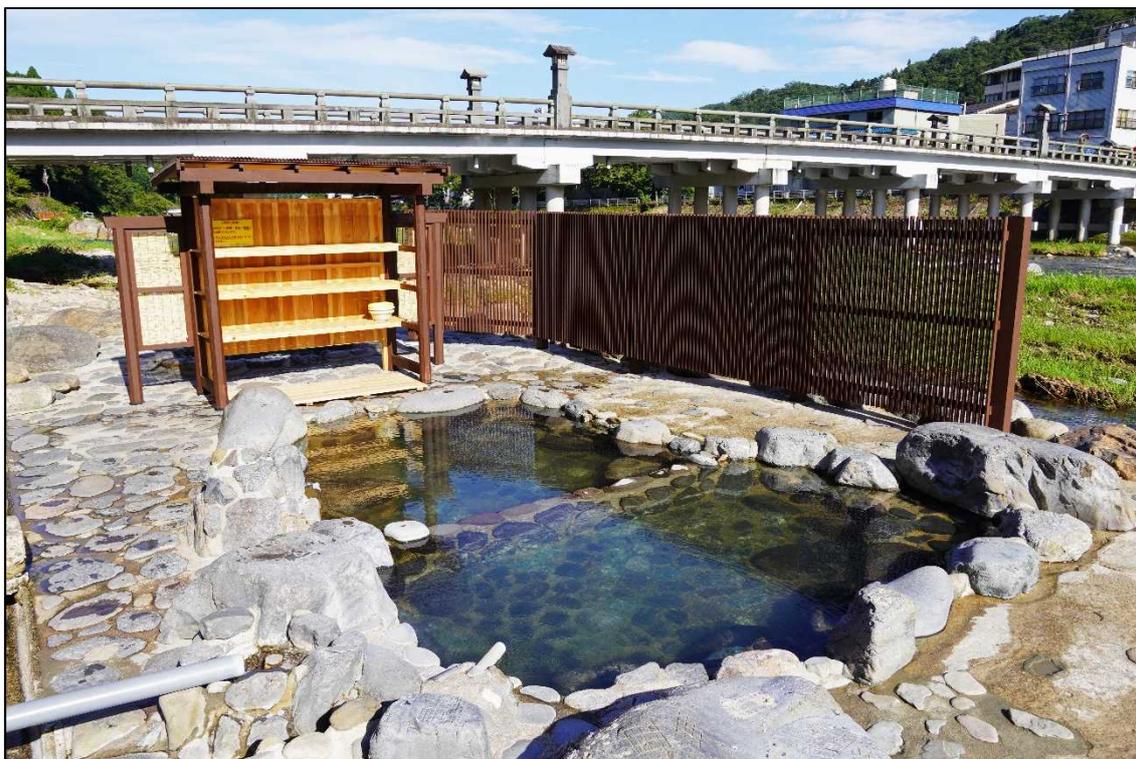
○温泉を活用した健康まちづくり事業基本構想について

5 その他

○資料5 意見書

6 閉 会

# 温泉を活用した健康まちづくり事業基本構想 (案)



令和5年●月

鳥取県三朝町

## はじめに

三朝町では、町の大切な資源である三朝温泉を最大限に活用し、町民の健康増進及び介護予防の推進を図ることを目的として「温泉を活用した健康まちづくり事業」を令和3年度から開始しました。

開湯850年という大きな節目を平成26年に迎えた三朝温泉は、昔から病に効く温泉といわれ、三朝温泉に泊まって3日目の朝には病気が治ることが三朝温泉の由来とされています。

平成27年には、三朝温泉と三徳山の持つ一体的なストーリー「六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～」が高い評価を受けて日本遺産に認定され、三朝温泉は「癒やし」が重要なキーワードとされるなど、古くから今日にいたるまで健康や癒やしといった面で注目を浴びてきました。

また、三朝温泉の持つ医学的効果の研究については、古くは岡山大学三朝温泉診療所の時代からはじまり、一定のエビデンスも蓄積されています。

このような天与の恵みである三朝温泉を十分に活用した今回の健康づくりの取り組みが、町民の健康増進につながっていくことを体感してもらうことを一つの目標としています。

そして、町民にとって温泉の効果を体感するとともに、三朝温泉を有するこの町を誇りに思うことにつながっていけば、広域的な連携へと発展させることができ、三朝温泉が国内、世界中の人から選んでもらえる温泉地となり、さらに活力ある展開が見込めます。

令和4年度においては、関係機関や事業所の皆さん、有志の方からの協力をいただきながら、事業の土台となる方針を定めた本事業の基本構想をとりまとめました。

三朝町では、本構想に基づき、「温泉を活用した健康まちづくり事業」を力強く進めていきます。

# 目次

## 第1章 背景

- 1 健康づくりの現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ① 出生数と死亡数の逆転現象・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ② 死因1位は「がん」・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ③ 介護予防・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ④ 運動の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ⑤ 元気を増やす、病気を減らす・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2 三朝温泉の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ① 三朝温泉の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ② 旅館と源泉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ③ 三朝温泉の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ④ 三朝温泉の観光客・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ⑤ 健康と温泉フォーラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

## 第2章 基本構想

- 1 町の全体目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2 温泉を活用した健康まちづくり事業の目標・・・・・・・・●
- 3 事業の方向性（背景等を踏まえて）・・・・・・・・●
  - ① “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくる・・・・・・・・●
  - ② 予防を総合的に推進する仕組みをつくる（温泉と健康づくりの連携）・・●
  - ③ 入浴等施設を整備する・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 4 事業実現に向けた体制と今後のスケジュール・・・・・・・・●
  - ① 令和5年度の動き・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ② 令和6年度の動き・・・・・・・・・・・・・・・・●
  - ③ 以降の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

## 第3章 参考資料

# 第1章 背景

## 1 健康づくりの現状

### ① 出生数と死亡数の逆転現象

平成に入って町の出生数は年々減少し、近年では年間の死亡数との差が徐々に広がってきており、人口減少問題が顕著になってきています。令和3年における出生数は20人に対し、死亡の数が137人と大きく逆転しています。

### ② 死因1位は「がん」

三朝町民の死因別死亡率については、がん、老衰、心疾患、脳血管疾患が増えてきています。全国的にもがんは死因の1位となっているなか、ここ三朝町でも同様の結果となっており、死因の2割ががんです。一方の特徴として、心疾患、脳血管疾患の割合が年々増加しています。がん検診の受診率は、全体で見ると全国より低いですが、70歳未満の受診率では肺・大腸・子宮がん検診において50%以上と全国に比べて高い受診率で、今後も働き盛り世代の受診率向上を目指す必要があります。

### ③ 介護予防

三朝町における介護認定率は、鳥取県全体に比べると高い状況にあります。介護の申請理由に目を向けると、高齢による衰弱、転倒や骨折が申請の大きな理由になっています。それらを踏まえ、三朝町包括支援センターでの対策や、町全体での健康対策として三朝町社会福祉協議会(社協)、鳥取県中部医師会立三朝温泉病院(温泉病院)とも連携しながら、フレイル予防、サロン等の通いの場の拡充に向けているほか、「週間体操ラ・ドン!※1」を町内の公民館等で実施しているところです。

また、通いの場は集落単位での開催とし、町内16ヶ所で実施しています。そして、社協、保健師、栄養士、町内の事業所と実施を分担しています。フレイル予防については、温泉病院と連携し、「筋力アップ教室」を令和4年度から開催しているところです。

### ④ 運動の促進

特定健診受診者のうち「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している」と回答した人は、全国で50%以上であるのに対し、本町では30%以下と低く、日常的に運動している人が少ないことが分かりました。このような状況を変えようと、町はノルディックウォーク※2を推奨しています。メリットは、4点歩行であるために膝や腰への負担が軽く、全身の90%の筋肉を使うことで筋

力アップにつながり、通常のウォーキングよりも消費カロリーが高いことにあります。

一方、ノルディックウォークを日常生活にとり入れてもらうために定期的を開催する催し（ウォーキングイベント、教室等）については、参加者に60歳代から70歳代の女性が多く、偏りがあるのが現状です。

この他、町民が習慣的に親しんでいる運動としては、グラウンドゴルフやペタンクなどがあります。

#### ⑤ 元気を増やす、病気を減らす

町では、生活習慣に起因する病気の予防、正しい生活習慣の啓発・定着、運動づくりの習慣化、筋力低下による介護予防と健康寿命の延伸を図り、医療費増大を招かないよう、引き続き対策を講じる必要があります。

#### 用語説明

##### ※1 週間体操ラ・ドン！

三朝小唄にあわせて行う介護予防体操。小さい子どもから足腰の不自由な高齢者まで、誰でも気軽に行える

##### ※2 ノルディックウォーク

2本のストックを使って歩行運動を補助し、運動効果を増強するフィットネスエクササイズ的一种。もとは、クロスカンントリーの選手が、夏季の体力維持・強化トレーニングとして、ストックと靴で積雪のない山野を歩き回ったのが始まり

## 2 三朝温泉の現状

### ① 三朝温泉の特徴

三朝温泉の泉質は単純温泉、塩化物泉、炭酸水素塩泉、放射能泉等で10あります。

なお、泉温が高く、ラドン濃度の高い温泉地としては、三朝温泉は他の温泉と比べると希少であり、「西のバドガシュタイン（オーストリア）、東の三朝温泉」ともいわれ、世界的にも有名です。

また、放射線を受けると細胞が活性化し、自然治癒力を高めると言われています。これを「ホルミシス効果」といい、特に効果が高いということを三朝温泉の魅力、効能として発信してきています。これらのことは、岡山大学三朝温泉診療所の頃から研究がなされてきました。

### ② 旅館と源泉

三朝温泉の旅館数は22軒あり、宿泊の規模は大型から家族単位のものまで幅があります。また、運営形態は観光だけでなく、湯治に特化した旅館もあります。源泉は個人、区、町の所有となっており、町の年間配湯は約5万3千トンです。

### ③ 三朝温泉の活用

三朝温泉の利用促進や普及啓発を進めている「現代湯治推進協議会」では、三朝温泉への連泊を推進したり、ラジウム<sup>※2</sup>の育成を進めています。

また、単に湯に浸かるだけでなく、熱気浴<sup>※3</sup>やオンドル<sup>※4</sup>、飲泉利用、足湯、温泉を活用した商品造成、温泉宅配などもあります。

### ④ 三朝温泉の観光客

平成29年から令和元年まで、毎年約35万人が三朝温泉に観光客として来ていました。しかし、新型コロナウイルス感染症が急拡大した令和2年以降、厳格な仁童の制限等もあり、観光客数が大きく減少し、令和2年には24万人、令和3年には19万8千人と急激に落ち込んでしまいました。

また、コロナ禍以前は1日に1,000人が宿泊し、インバウンド<sup>※1</sup>も多くありました。インバウンドの内訳は、香港、中国、台湾が多かった一方、温泉のつながりから交流がスタートしたラマルー・レ・バン町があるフランスからも来町があり、少しずつインバウンドの波が来ようとしていました。しかし、その期待もコロナ禍によりなくなってしまいました。

一方、旅行雑誌において、鳥取県を訪問する旅行者の特徴が分析され、令和3年度は鳥取県には約90万人が来県し、そのうち、中四国からが半分、関西からは2割となっています。このため、中国地方、四国地方、関西地方からの観光客が全体旅行者

の大半を占めているといえます。

また、旅行者の宿泊費用は、全国平均で5万円のところ、鳥取県だと4万6,000円程度と若干少ない傾向にあります。加えて個人旅行が9割、リピーターは6割あるということも、鳥取県の旅行に関する特徴となっています。

#### ⑤ 健康と温泉フォーラム

三朝町は、健康づくりのために必要な温泉保養施設、保養プログラム、温泉地の環境整備等の問題について調査研究や普及啓蒙などを全国の温泉地で連携して取り組んでいこうとする「健康と温泉フォーラム」に参画しています。そして、令和元年には、三朝町でこのフォーラムを開催したところです。

#### 用語説明

##### ※1 インバウンド

本構想では、訪日外国人観光客のこと

##### ※2 ラジムリエ

三朝温泉のエキスパート。三朝温泉の泉質をはじめとした豊富な知識、おもてなし等の技術があることを証明する資格保持者

##### ※3 熱気浴

ラドンがミスト状に充満した熱気浴室（温泉熱を利用したもの）に入り、身体を温め深呼吸することでラドンを体内に取り込める

##### ※4 オンドル

温泉熱を利用した室内暖房

### 3 現状から見える課題

現状を振り返ると、三朝温泉では、ホルミシス効果に代表されるように、健康にも効果的であることが判明しているところですが、健康づくりにおいてはこれまで、三朝温泉の活用が意識的になされてはきませんでした。

また、三朝温泉においても、健康面への効果はあるものの、町民全体へ十分に浸透しているとはいえず、温泉がもたらす恩恵を町民が享受できているかは、なお不透明であります。

#### 【健康づくりの課題】

- 介護認定率が高い
- 日常的に運動している人が少ない
- 健康づくりと三朝温泉活用が繋がっていない

#### 【三朝温泉の課題】

- 観光客数の減少
- 旅館の減少
- 三朝温泉の町民への恩恵が少ない（町民の利用が少ない）
- 日帰り入浴施設が少ない（旅館以外）

#### 4 既存計画の位置付け

三朝町では、平成30年度に第11次三朝町総合計画を策定し、本計画において町が進んでいく将来像として「笑顔と元気があふれ 輝く町」を掲げ、その実現に向けて邁進しているところです。この将来像には、「笑顔」、「元気」、「輝く町」の3つのキーワードが組み込まれています。

「笑顔」については、町民が精力的に活動する姿、活力ある様子のもと、町に存在する資源を余すところなく活用し、産業の振興、交流の促進につなげていくことを意味しています。

「元気」については、充実した子育て環境、教育環境といった次世代の元気につながっていくものから、安全で安心できる日々の暮らしといった日常生活につながるもの、さらには、毎日が健康で、自分らしく暮らせることの実現への願いも込められています。

これらの「笑顔」と「元気」が合わさることで、三朝町はさらに輝きが増す町となっていくことへの道筋が、ここでは設定されています。

また、同計画策定の翌年度、町は第2期「三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。この戦略では、総合計画を受けて、健康づくりの分野で「温泉を活かした健康・まちづくり」の実施を位置付けているところです。

第11次三朝町総合計画から見る、本事業の位置付けは次のとおりです。

##### 【将来像】

### 『笑顔と元気があふれ 輝く町』

「笑顔」に該当するもの・・・町民の活力、産業の振興、交流の促進 等々

「元気」に該当するもの・・・子育て・教育の充実、健康づくりの推進

##### 【関連する分野別将来像】

いのちと健康を育む町

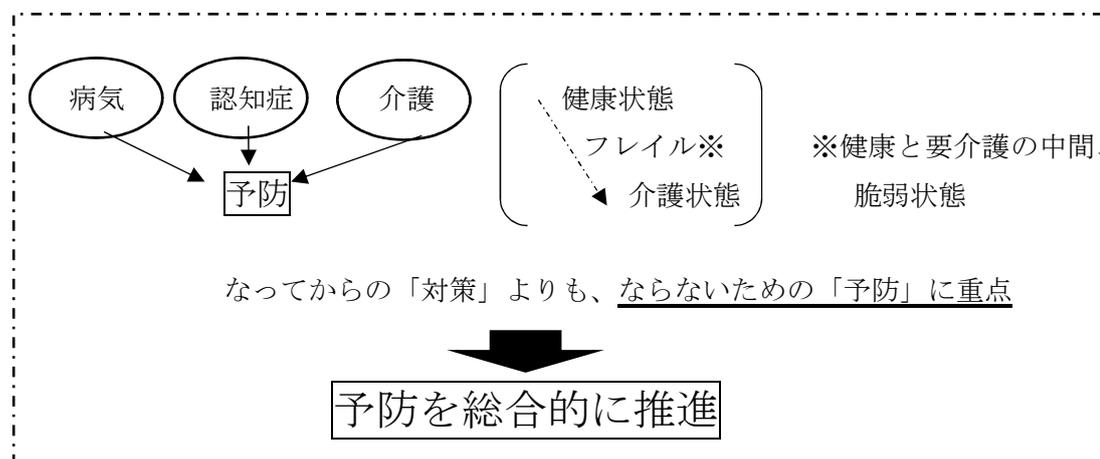
##### 【関連する基本方針】

健康長寿のすすめ→町民が健康で、長生きすること

この流れから、『健康長寿の町づくり』が町全体の目標になっているといえます。

そして、この目標を達成するために、限られた人材、資源といったことを加味した際に必要となってくることは、「病気にならない」、「介護状態にならない」といった「予防」に重点を置く必要があるといえます。

このため、町では予防対策を総合的に進めていくこととします。



#### 【予防に関わること】

##### ◇三朝温泉の活用

(3日目の朝にはどんな病も治すといわれる三朝温泉)

##### ◇日常的な運動、筋力維持、トレーニングを含めた体力づくり

##### ◇定期的な健康診断、がん検診の受診

##### ◇豊かな自然環境を活かした取り組み、地域や社会参加

#### 【期待される効果】

##### ◇健康寿命の延伸 (将来像)

○医療費・介護給付費が下がる

○元気な人が増えることによる人手不足の解消 (地域) 等

##### ◇全国に誇れる三朝町

○町民が誇れる三朝温泉 (自慢の温泉)、町の誇り

○移住者の増加、Uターンの増加 等

##### ◇新たな観光の目玉

○観光客の増加と経済効果

○ヘルスツーリズムの推進 等

## 第2章 基本構想

現状や課題を踏まえ、三朝町では次のことに取り組んでいきます。

### —前提—

#### 1 町の全体目標

⇒健康長寿の町づくり

#### 2 温泉を活用した健康まちづくり事業の目標

⇒三朝温泉をはじめとするまちの資源を有効に活用し、

町民の「予防」を総合的に推進（健康増進）する仕組みをつくる

#### 3 事業の方向性（背景等を踏まえて）

##### ① “三朝温泉”を知ることにによる温泉活用への動機をつくる

六感治癒：観・触

##### ② 温泉と健康づくりを連携させる

六感治癒：心

##### ③ 入浴等施設を整備する

六感治癒：聴・味・心・香

## ① “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくる

三朝温泉には、ラドンの出す微弱な放射線が含まれ、その刺激によって体の免疫機能を高めるホルミシス効果があります。医療的な面で見ると、がん予防、酸化障害の抑制、呼吸器系疾患の改善、皮膚バリア機能の改善に効果があるほか、ストレス軽減、リラックス効果、痛みの緩和にも効果があり、入浴するだけで三朝温泉の持つ健康的な効果の恩恵を享受できるともいえます。

また、効果のもととなっているラドンは、三朝温泉の空気中にも存在しており、滞在するだけでも効果があります。そのうえで、温泉街において簡単なウォーキングや散歩等を行うことは相乗的な健康効果につながると考えられています。

このような入浴や滞在するだけでも効果がある三朝温泉について、まだまだ知識として浸透しきっていないのが現状で、三朝町民にあっても同じ状況です。

また、多くの研究者や機関においてそのエビデンスについて調査研究がなされており、結論に至っていないものも含めて、現在も続けられており、このことの歴史も積み重ねのなかで大きな意味を持っています。

このため、まずは町民に三朝温泉のことをもっと知ってもらうことを一つの柱として、本事業を進めていくこととします。

### 【具体的な取り組み例】

#### ○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備

まずは、三朝温泉のことをもっと知ることが重要です。三朝温泉が持っている価値を知ることによって、温泉を身近に感じてもらい、浸かるだけでも効果がある三朝温泉、滞在するだけでも効果がある三朝温泉をもっと好きになることにつながっていきます。そのためのミュージアム機能を整備します。

なお、ミュージアム機能については、事業の方向性の「② 入浴等施設整備を整備する」において「知識」の分野をとり入れるなど、一体的に検討するほか、オンライン上での実現といったように、デジタル技術の活用にも目を向けていきます。

#### ○三朝温泉を学ぶ機会を創出

健康相談の場をはじめ、保育の場、学校教育やPTA、集落での集いなど、あらゆる場面を通じて三朝温泉を知る機会に結び付けていき、この町で生活することが知ることにつながる仕掛けを作ります。(例：三朝温泉読本の制作等)

#### ○町民ラジムリエ資格取得応援・育成（現行制度の応用）

三朝温泉の知識と作法の証明であるラジムリエ制度を拡充し、三朝温泉の利用者となる町民にも広く普及していきます。そうすることで、三朝温泉の知識をもった町民が増加

し、三朝温泉への愛着、誇りの醸成・拡大につながります。

○三朝温泉の情報発信強化（ラドン濃度のSNS発信等）

三朝町民に需要のある三朝温泉の情報を毎日、SNSで発信します。例えば、河原風呂の湯温、気温、可能であればラドン濃度なども併せて発信することで、“いま”の三朝温泉を身近に感じてもらうことを目指します。

○町民主体の温泉活用報告会の開催

町民視点の温泉利用（例：私の三朝温泉活用方法）について報告する場を設け、町民が温泉利用について情報共有するコミュニティを創設します。コミュニティ活動が熟成することで、新たな温泉利用方法の発見、利用者の増加を目指すこともでき、町民の温泉利用がさらに町民利用を呼び込む好循環を形成していきます。

○ワーケーション環境の整備（入浴と仕事の両立支援）

三朝温泉に浸かる、滞在するだけでも効果があるため、滞在しながら仕事をする「ワーケーション」ができる環境を整備します。

○小学生・中学生への出前授業

三朝温泉をもっと知ってもらうためには、子どもの頃からの知識の習得や、体験も重要となります。入浴と教育を掛け合わせた「浴育」の推進にも積極的に取り組み、三朝温泉の知識を学校生活の場でも感じてもらい、自然と知識を持てる仕掛けづくりを行います。

○町民の日帰り入浴の利用料補助

町民にもっと三朝温泉を気軽に利用してもらうため、旅館が実施している日帰り入浴や公衆浴場の利用料金を補助します。（お風呂の日※毎月26日※）

また、運動や健康づくりの催しの際にも、気軽に三朝温泉を利用してもらえよう、利用料金を補助します。（町民利用数の調査方法構築も併せて実施）

【重要業績評価指標（KPI）】

○町民の三朝温泉への知識を深める機会の増加（ワークショップ、報告会の開催）

○ラジムリエ取得者数の増加

○町民の三朝温泉利用の増加 など

## ② 温泉と健康づくりを連携させる

日々の生活において、適度に体を動かしたりスポーツ活動をしたりすることに加え、栄養バランスの整った食生活、定期的な健康診断、がん検診を続けていくことは、いつまでも自分らしく、健康に暮らしていくために重要なことです。加えて、要介護の手前の状態であるフレイルを予防するためには、これらのことに合わせて、筋力の維持も重要となります。

これまで、このような健康づくりのための取り組みには三朝温泉が連動してなかったところですが、三朝温泉が癒やしの効果をはじめとして、健康への効果が優れていることを十分に活かし、これらの連携を実現すれば、健康づくりの面では高い効果が期待でき、三朝町の健康づくりの取り組みの加速・発展・拡充につながるということが可能になるといえます。

三朝温泉を知ること、必要となる施設を整備することと並行して検討を進めながら、「健康づくり」に「三朝温泉」を掛け合わせた連携を確立させ、町民利用につなげていくことで、町民の健康増進に貢献していきます。

### 【具体的な取り組み例】

#### ○三朝温泉独自の「湯道」作法を構築

温泉に入浴する前に、ストレッチ、ヨガ等について時間をかけて行うことで、体を適度にほぐし、心地よい温泉入浴を実現させます。また、三朝温泉独自の運動プログラムとして、より高い入浴効果があるものとして、例えば軽度の運動プログラムを開発するなどした「湯道」作法を構築します。さらに、介護予防体操として親しまれている「週間体操ラ・ドン！」と入浴を組み合わせるなどの普及啓発も実施していきます。

#### ○トレーニング機能の整備

メタボリックシンドロームは、そのまま放置した生活を続けていると、生活習慣病に、やがてより重篤な病気へつながっていきます。特に子育て世代、働き世代は自分自身の健康維持・健康増進のための行動が後回しになりがちですが、この世代の健康への意識付けをすることで将来的な介護や疾患への対策とし、人口減少時代における町の担い手の確保につなげていきます。

このため、特にこのような世代に興味があるものを調査し、需要の高いものを実現させていきます。調査と実現にあたっては、筋力維持のためのマシントレーニング、自重トレーニング、サーキットトレーニングなど幅広く想定しながら進めていきます。

#### ○運動と温泉、健康づくりと温泉の循環

トレーナーの配置による健康づくり活動（例：リハビリ教室、転倒予防教室、健康料理教室、健康診断）をしたり、定期的な運動を実施した後は温泉入浴の割引をしたりするなど、運動や健康づくりをした後は温泉入浴への動機付け、導入につなげていくような

循環を確立させていきます。

#### ○三朝温泉健康アプリの開発

現在、三朝町は人口減少や少子高齢化など大きな社会課題に直面しています。このため、健康づくり活動と温泉入浴の好循環の確立ができたとしても、継続性が課題です。この課題を解決し、持続可能な取り組みとして新たな付加価値を生み出す源泉となるものはデジタルの力です。

そこで、健康づくり活動を実施した場合にはデジタルポイントが付与され、一定のポイントが貯まれば入浴料金が無料となるような制度をとり入れたものや、手ぶらでの温泉と健康の取り組みを体験できるアプリケーションを開発します。そして、このアプリが健康づくり活動の補助、温泉入浴への動機付け・誘導していくツールとします。

また、将来的には、一人ひとりにあった入浴方法の指示、三朝温泉をはじめとする医療機関との連携による遠隔医療の礎とできるような展開についても、デジタル技術を活用するなかで検討していきます。

#### 【重要業績評価指標（KPI）】

- 連携事業の体験者数の増加
- 健康効果の体感
- 健康診断の数値改善（町全体で）
- 三朝温泉健康アプリの登録者数

### ③ 入浴等施設を整備する

町の新たなシンボルとなるような入浴機能を有した施設を整備します。町内には、区と旅館が管理する施設以外の一般的な公衆浴場は河原風呂以外にありません。これまで、町民をはじめとして多くの方から利用のあった公衆浴場「たまわりの湯」については、令和5年度末で施設老朽化のほか、運営団体の事業収支計画や維持費の増加等もあって閉館となることが決まり、その代替となる受け皿の必要性も増しているところです。

また、町民が温泉を活用した健康づくりを一体的に進め、その効果を実感していくためには、入浴するだけの機能に留まらず、その他の需要にも対応できる機能が必要となります。このため、これらの健康づくりにもつながっていく機能を持ち合わせた、新たな入浴等施設を整備する必要があります。

一方、必要となる機能を一つの施設内に全て有することは理想ではあるものの、予算・財源や立地等の制限が生じてきます。このため、既存の公共施設や民間施設が有する機能もブラッシュアップすることも視野に入れながら、整備する施設で相互に補完するような仕組みもとり入れ、最大限効率的な費用対効果を生み出す施設整備を目指します。加えて、施設間の往来から生まれる三朝温泉の賑やかさ、施設利用の促進にもつながっていくよう、その仕組みも併せて構築していきます。

#### 【具体的な取り組み例】

##### ○入浴等施設の整備

三朝温泉の効能を実感できる入浴等の施設を整備します。整備にあたっては、温泉の効果である癒やし／リフレッシュを求める町民、健康づくりに興味がある町民といったように一定のターゲット層を意識しながら、整備に向けていきます。

癒やしを求める町民に対しては、「究極の癒やし」などをキーワードにししながら、リラックスして温泉入浴を楽しんでいただけるように配慮をするとともに、「オンドル」のような「着衣のまま楽しめる（体験できる）温泉」の実現も検討していきます。

また、全町民が気軽に利用してもらえることも念頭におきながら、例えば障がいがある方、手術痕がある方であっても気兼ねなく利用できるよう、バリアフリー化や「家族風呂」などについても、利用者のニーズを考え、整備を検討します。そして、当該入浴施設の整備を通じて、気軽な三朝温泉への入浴を実現していきます。

一方、健康づくりに興味がある層に向けては、三朝温泉の効能を知ることができる「ミュージアム」を設け、「学び」への環境を整理し、温泉の効能を知って入浴する好循環につなげます。また、ラジムリエ制度と連携し、利用者一人ひとりに合わせた健康づくりに効果的な入浴が実現できる、オリジナルな公衆浴場を目指します。（ラジムリエ+健康づくりの知見）

加えて、主に医療としてのリハビリテーションを終えた方、スポーツでの怪我や疾患を

持った方が、体の機能維持・向上を目的とした入浴も実現できるような利用方法と体制について、一体的に検討していきます。(湯中運動、多目的スペース等の整備)

#### ○相互補完の仕組み構築

三朝温泉には、鉱泥湿布を三朝温泉病院が行ったり、温水プールをリハビリ治療の一環として所有しているほか、熱気浴体験施設の「すーは一温泉」があるなど、それぞれが特徴を持って運営しているところです。

新たに整備する施設は、これらの特徴を持った取り組みについて、簡易的に体験できるような機能を備えることとし、それによって「さらに体験したい利用者」を生み出し、本格的な体験については相互に補い合うような仕組みを各機関と連携してつくりあげていきます。また、相互送客の仕組みもとり入れ、三朝温泉全体が健康志向の温泉地として一体感のあるものへと昇華させていきます。

#### ○特産品（食）との連携

三朝米、神倉大豆をはじめとし、トチモチ、山椒、豆腐、干し柿など、三朝町には多くの誇るべき特産品があります。これらを有効に活用して、温泉と食の地産地消を実現します。

### 【重要業績評価指標（KPI）】

- 入浴等施設の整備
- 入浴等施設の利用者数の増加

#### 4 事業実現に向けた体制と今後のスケジュール

##### ① 令和5年度の動き

温泉を活用した健康まちづくり事業においては、令和4年度に作成した本基本構想を土台として進めていきます。

令和5年度は、事業の方向性をもとにして、入浴等施設の整備方針やコンセプト、規模、位置等についても各種調査や町民意向等を踏まえて検討を進め、基本計画として定めていきます。

また、「温泉」と「健康づくり」が連携できる事業について、実証事業を実施しながら、入浴等施設の共用開始をひとつの目途とし、本格的な稼働に向けて準備も進めていくこととしています。これに加えて、施設や連携事業の運営事業者、どういった運営を目指していくのかもあわせて検討していきます。

##### ② 令和6年度の動き

令和5年度に策定する基本計画をもとに、必要な入浴等施設の実施設計業務に着手します。

その際には、整備に当たって必要となる財源をしっかりと確保できるよう、国や県等の動きを注視しながら、情報を集めていきます。

また、「温泉」と「健康づくり」の連携事業については令和5年度に引き続いて実施し、より精度の高い取り組みとしていきます。

##### ③ 以降の動き

これまで進めてきた基本構想、基本計画、基本設計等の調査、実施設計、「温泉」と「健康づくり」の連携事業における実証事業で得られた成果を総動員し、必要な施設の整備を着実に進めていきます。

そして、町民が温泉を活用した健康まちづくり事業の取り組みを体感し、それぞれが自分らしく健康で暮らしていくことができるよう取り組みを持続的なものとしていきます。

#### 【事業全体】

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 令和4年度 | 基本構想                          |
| 令和5年度 | 基本計画、基本設計、温泉と健康づくりの連携における実証事業 |
| 令和6年度 | 実施設計、温泉と健康づくりの連携による実証事業       |
| —以降—  | 入浴等施設の整備                      |

### 第3章 参考資料

ワーキンググループ会議、温泉活用した健康まちづくり事業検討委員会の資料

# 基本構想原案における事業の方向性の3つの柱

## 基本構想

WG会議：原案作成 R4. 11～R5. 2  
検討委員会：策定協議 R5. 2～R5. 3



健康づくりの現状

温泉の現状

課題

既存計画との関連

事業の  
方向性

スケジュール

### ① “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくる

観 触

#### 【方向性】

まずは、町民に三朝温泉の知識をもっと知ってもらい取り組みを進めていく。

#### 【取り組み例】

- 三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備
- 三朝温泉を学ぶ機会を創出
- 町民ラジウム工資格取得応援・育成（現行制度の応用）
- 町民主体の温泉活用報告会の開催 など

#### 【必要なこと】

- ◆ミュージアム機能の検討
- ◆既の実施中の「知る機会」整理 など

### ② 温泉と健康づくりを連携させる

心

#### 【方向性】

温泉と健康づくり、運動を組み合わせた仕組みをつくる。

#### 【取り組みの例】

- 三朝温泉独自の「湯道」作法を構築
- 三朝温泉健康アプリの開発 など

#### 【必要なこと】

- ◆連携事業の実証事業（スポ庁）
- ◆必要となるアプリの検討 など

### ③ 入浴等施設を整備する

聴 味 心 香

#### 【方向性】

入浴ができる施設に必要な機能を追加した施設を整備する。

#### 【取り組みの例】

- 入浴等施設の整備
- 相互補完の仕組み構築
- 特産品（食）との連携 など



#### 【必要なこと】

- ◆機能の整理
- ◆財源確保
- ◆設計業務
- ◆調査業務など



## 基本計画

検討委員会：策定協議 R5. 4～



ミュージアム  
・  
知る機会の検討

温泉×健康  
(スポ庁活用)

整備施設計画  
◆コンセプト  
◆規模  
◆場所  
◆機能 等

委員コメントへの対応・検討状況について【健康部会】 資料3

Q：それぞれの立場で、今回のテーマの印象

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                 | 対応・検討状況（予定含む）                                                                                             |
|-------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ※原委員  | ○全体でどう、健康で長生きができるようにしていくかがキー（フレイル対策、移動手段確保※地域から入浴施設へ※）               | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                       |
| 山根委員  | ○ターゲットをどこにするのかによって、関わり方も変わる                                          | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                       |
|       | ○魅力あるものを作らないと、人が集まってこない                                              | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備に記載しました。                                                                             |
|       | ○今の時代は食事も重要、食と温泉と運動が形になっていくといい                                       | ③入浴等施設を整備するー○特産品（食）との連携に記載しました。                                                                           |
| 松田委員  | ○温泉地という付加価値は時代が変わっても存在する価値、魅力が生かせる形に                                 | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                       |
| 田村委員  | ○三朝温泉の効果（がんへの効果）を体感できる施設、理学療法士、医師が常駐する施設、スポーツ疾患の人が、リハビリができるような特化した施設 | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備に記載しました。                                                                             |
|       | ○地元の食も活用した健康づくりができる場                                                 | ③入浴等施設を整備するー○特産品（食）との連携に記載しました。                                                                           |
| 牧田委員  | ○若い人に寄り添うような場                                                        | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備に記載しました。                                                                             |
|       | ○近隣住民から魅力と思われる、温泉を使った集まれる場                                           | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備に記載しました。                                                                             |
| 漆原係長  | ○温泉を使った、みんなが集まれる場                                                    | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備に記載しました。                                                                             |
|       | ○若いころからの健康習慣が大事（運動、食等）                                               | ②温泉と健康づくりを連携させるー○トレーニング機能の整備<br>③入浴等施設を整備するー○特産品（食）との連携に記載しました。                                           |
| 川崎専門員 | ○食、温泉、運動の組合せ                                                         | ②温泉と健康づくりを連携させるー○トレーニング機能の整備<br>〃 ー○運動と温泉、健康づくりと温泉の循環<br>③入浴等施設を整備するー○相互補完の仕組み構築<br>〃 ー○特産品（食）との連携に記載しました |
|       | ○食への意識改善（薬膳料理の勉強）、文化教室等の機会提供）、リラクゼーション、アロマを活用した交流の場、バイオリンの活用         |                                                                                                           |
| 藤井課長  | ○楽しい施設、行く人にとってメリットがある場（効果が体感）                                        | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備に記載しました。                                                                             |
|       | ○今よりも健康になれる場                                                         |                                                                                                           |
| 村上課長  | ○町全体に温泉の良さ、健康づくりの大切さを実感してもらえよう発信                                     | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備に記載しました。                                             |
| 矢吹課長  | ○介護、通院にならない、予防が大事                                                    | ②温泉と健康づくりを連携させるー○三朝温泉独自の「湯道」作法を構築<br>〃 ー○トレーニング機能の整備                                                      |
|       | ○ターゲットにするのは50代頃～                                                     | 〃 ー○運動と温泉、健康づくりと温泉の循環<br>〃 ー○三朝温泉健康アプリの開発                                                                 |
|       | ○来てもらう仕掛けづくりが大事                                                      | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備<br>〃 ー○相互補完の仕組み構築に記載しました。                                                           |

Q：具体的なターゲットの想定

| 委員等氏名 | 発言要旨                                | 対応・検討状況（予定含む）                                                                                         |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ※原委員  | ○50、60代が中心だとできるが増える                 | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                   |
| 山根委員  | ○理想は全年齢、子どもから高齢者まで（やるなら、時間帯や曜日でわかる） | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                   |
|       | ○定年後も元気でいたい、ある程度自由になれる年齢層           |                                                                                                       |
|       | ○高齢者がより元気に地域で過ごせるようにするところもターゲット     |                                                                                                       |
|       | ○仕掛け次第、小さな子から温泉の良さ、楽しさを知ってもらう取り組み   | ④“三朝温泉を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー○小学生・中学生への出前授業に記載しました。 |
| 松田委員  | ○生活にどれだけ温泉が密着しているか、町内でも地域差          | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                   |
|       | ○魅力を高めても、到達するまでのバリアが存在              |                                                                                                       |

|       |                                                            |                                                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | ○健康づくりに三朝温泉を利用するための移動手段で大きな格差<br>○0歳から高齢な方まで、どんな人も元気になれる温泉 | ③入浴等施設を整備するー○相互補完の仕組み構築<br>温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                           |
| 田村委員  | ○県内の人は、魅力をあまり感じてない。発信を上手にやれば、よそに行かなくてもこんなにいいところはないと気付く     | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃ー○三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃ー○三朝温泉の情報発信強化<br>〃ー○町民主体の温泉活用報告会の開催に記載しました。 |
| 牧田委員  | ○ターゲットは若い方だが、地域全体の方が利用できるというふうに考えれば、全年齢                    | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設を整備に記載しました。                                                                                            |
| 漆原係長  | ○施設の作り次第で、ターゲットは広がる                                        | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設を整備に記載しました。                                                                                            |
| 川崎専門員 | ○自分で動ける世代                                                  | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                                      |
| 藤井課長  | ○子ども、高齢者、健康に不安がある方                                         |                                                                                                                          |
| 村上課長  | ○高齢の方が中心、プラスアルファその他世代に良さを伝える                               |                                                                                                                          |
| 矢吹課長  | ○理想は全年齢、自分で動ける方、行ける方（行けない高齢者は連れて来る）                        |                                                                                                                          |

Q：健康づくりと湯中運動

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                                                                                                                   | 対応・検討状況（予定含む）                                                                         |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 山根委員  | ○水中運動のメリットは、必要以上に負担をかけずに、効果的な運動ができること、そこに温泉が入るとさらに効果が増すということでもいいことだらけ（一方、心臓への負担）<br>○浮くだけでもリラクゼーションにもなる<br>○効果的な酸素で痩せるとか、女性が集まりやすくなる、より健康になるメリット<br>○指導できる、参加する人を上手に乗せられる人がいれば、効果的な運動に | ②温泉と健康づくりを連携させるー○トレーニング機能の整備<br>〃ー○運動と温泉、健康づくりと温泉の循環<br>③入浴等施設を整備するー○入浴等施設を整備に記載しました。 |

Q：社会福祉協議会のお風呂の活用

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                                           | 対応・検討状況（予定含む）                       |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 松田委員  | ○高齢者利用で、安価な料金設定<br>○定期的に来られる人もあるが、距離や移動の問題がある<br>○社会福祉協議会としては、間口を広げているが、運動面という切り口で明確な目的を確立していくと、場合によっては間口が狭くなる | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。 |

Q：子育て世代等の若い世代の関心について

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                              | 対応・検討状況（予定含む）                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 牧田委員  | ○一緒に入浴するところと考えれば、家に入ることも同じだが、どこかに行って、思い出の中の一つとして、入浴があることは、肌と肌を触れ合う経験が子供を育てていく、子供の心を育てていくのには、とてもいい | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。 |

Q：町民の湯治という切り口はどう考えるか

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                                                                                        | 対応・検討状況（予定含む）                              |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 糸原委員  | ○運動浴、鉱泥湿布を町民がうまく利用できること、湯治というところからすると温泉を使ってすること<br>○集まれる場所で、観光からすると1週間のプランみたいなものがある、それが運動して1週間のプランみたいなのが組み込めば町内、町外の方も一緒に使えるようなものになると湯治であり、リゾートであり、観光でも使えるもの | ②温泉と健康づくりを連携させるー○三朝温泉独自の「湯道」作法を構築に記載しました。  |
| 田村委員  | ○歩いているだけでも元気になれることを取り込むような施設<br>○サイクリング、ウォーキングコース整備、トレッキングや山の整備等の温泉だけでなく面も視野に入れた健康増進                                                                        | ②温泉と健康づくりを連携させるー○運動と温泉、健康づくりと温泉の循環に記載しました。 |

Q：現代湯治と町民の健康

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                                                         | 対応・検討状況（予定含む）                                  |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 藤井課長  | ○日本遺産有識者から、温泉街でいうと座る場所が欲しい、例えば健康むらから川沿いでも椅子があると、長く過ごせられる、そこで自分の好きなことができるか、そういう助言もいただいたことも<br>○鉱泥湿布、熱気浴、飲泉、ここに来たら全て体験できるという施設 | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設を整備<br>〃ー○相互補完の仕組み構築に記載しました。 |

Q：利用者を増やすための仕掛け

| 委員等氏名 | 発言要旨                     | 対応・検討状況（予定含む）                   |
|-------|--------------------------|---------------------------------|
| 矢吹課長  | ○そこで健診ができたり、自分たちが働いたりする場 | ③入浴等施設を整備するー○相互補完の仕組み構築に記載しました。 |

Q：入浴施設をもしも作るとして、どんなものがあたらいいか

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                                                                                                                | 対応・検討状況（予定含む）                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 糸原委員  | ○全部を総合的にやるのが一番いい、そこに行ったら、温泉に入れて、子供が遊べて、鉱泥湿布ができて、運動浴ができる                                                                                                                             | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備<br>〃ー○相互補完の仕組み構築<br>に記載しました。                  |
| 山根委員  | ○健診もできて、お風呂だけではない広いスペースがあって、ヨガとかもできて、子どもが預けられるような託児施設みたいなものがある<br>○三朝の特産物で、インシシをとってジビエの食も入り、楽しみもあり、レジャー的なところもあったり、温泉も入れて、サウナのようなものもそこにくっつけて、いろいろ欲張っていくと、既存の吸う、温めるとか、いろんなものをつけると一番理想 | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備<br>〃ー○相互補完の仕組み構築<br>〃ー○特産品（食）との連携<br>に記載しました。 |
| 松田委員  | ○健康づくりとテレビアニメやゲーム等のコンテンツと絡めて発信していく                                                                                                                                                  | ④“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の情報発信強化に記載しました。                    |
| 田村委員  | ○三朝の独自性もあるオンドル<br>○貸し切りの温泉施設（一目を気にしない※病気等で）<br>○大小のお風呂、ミストサウナ、熱気浴的なもの                                                                                                               | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備<br>〃ー○相互補完の仕組み構築<br>に記載しました。                  |
| 牧田委員  | ○お風呂に入らない温泉（脱がない）、個室、Tシャツで過ごせるような場、みんなが集える場<br>○足浴、手浴                                                                                                                               | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備<br>〃ー○相互補完の仕組み構築<br>に記載しました。                  |

委員コメントへの対応・検討状況について【温泉部会】 資料3

Q：普段感じておられる温泉と健康、自分の健康づくり

| 委員等氏名   | 発言要旨                                                                               | 対応・検討状況（予定含む）                                                                                                                                                    |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アントニー委員 | ○温泉に入ると疲れがとれる、膝の痛みがとれる                                                             | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー○三朝温泉の情報発信強化<br>〃 ー○町民主体の温泉活用報告会の開催<br>に記載しました。                                 |
|         | ○三朝温泉にやってきて体調が良かった人の話を聞く                                                           |                                                                                                                                                                  |
| 御船委員    | ○三朝温泉は医学的には「世界一の環境にある温泉」、自覚できていない                                                  | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー○三朝温泉の情報発信強化<br>〃 ー○町民主体の温泉活用報告会の開催<br>〃 ー○ワーケーション環境の整備（入浴と仕事の両立支援）<br>に記載しました。 |
|         | ○観光客の価値観が健康志向にシフトし、これからクローズアップされる地域                                                |                                                                                                                                                                  |
| 岡崎委員    | ○かつて町の委員会等に関係してきたが、温泉と健康は結び付かなかった（町民1,000人が毎日温泉に入ったら結果は出るが、到底無理、たまに入って健康になるわけではない） | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                                                                              |
|         | ○温泉の利用価値が一番あるのはリハビリ                                                                | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー○三朝温泉の情報発信強化<br>〃 ー○町民主体の温泉活用報告会の開催                                             |
|         | ○鳥大と共同研究をしてアトピーにもいい                                                                |                                                                                                                                                                  |
| 山内委員    | ○町外の人から温泉があるから三朝の人って肌のつやがいいとよく言われる                                                 | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○町民主体の温泉活用報告会の開催<br>に記載しました。                                                                        |
|         | ○山、川があって、ウォーキングをするにも環境がよい                                                          |                                                                                                                                                                  |
|         | ○三朝温泉に通うと、数値がよくなったという話を聞く                                                          |                                                                                                                                                                  |
| 米田委員    | ○湯船につかると、疲れ、ストレスが癒やされる                                                             | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○町民主体の温泉活用報告会の開催<br>に記載しました。                                                                        |
|         | ○温泉に入浴すると、アトピーの症状が少し落ちつく、良くなる経験                                                    |                                                                                                                                                                  |
| 藤井課長    | ○泉質の良さをPRするために、数値で示すことが一番理解されやすい、ロコミとのバランスが大事（現代人に刺さる数値はなにか）                       | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○町民主体の温泉活用報告会の開催<br>に記載しました。                                                                        |
| 御船委員    | ○究極が「がん」、だから三朝地区は他地区に比べて非常にがん効果高い                                                  | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>に記載しました。                                                                                               |
|         | ○抗酸化作用機能が非常に高くなってきている                                                              |                                                                                                                                                                  |
|         | ○ストレスチェックのエビデンスもある                                                                 |                                                                                                                                                                  |
|         | ○温泉、町民の健康づくり、どの程度、何をしていけばいいかという話                                                   |                                                                                                                                                                  |

Q：町民の温泉を活用した健康づくりをやっているとき課題

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                  | 対応・検討状況（予定含む）                                                                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 御船委員  | ○いろいろあればいいにこしたことはない                                                                   | ②温泉と健康づくりを連携させるー○町民の日帰り入浴の利用料補助<br>③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備<br>に記載しました。                                          |
|       | ○たまわりの湯がなくなるにあたり、自由に旅館の温泉を入れてということは難しい                                                |                                                                                                               |
|       | ○町民、役場職員含めて三朝温泉のことをどこまで知っているのかわかりたい                                                   | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー○三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー○町民主体の温泉活用報告会の開催<br>に記載しました。 |
|       | ○医療施設、温泉、日本遺産、絵にかいたような環境をどう活かすかの前に、知っていただくことが大事（理解が深まれば温泉に好きになる）。そうすると、ラジウムエがお手伝いができる | ④ “三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー○町民ラジウムエ資格取得応援・育成<br>に記載しました。                                                    |
|       | ○こちらがどうぞと言っても、その気になってもらわないと続かない                                                       | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                           |

Q：ラジウムエの関わり方

| 委員等氏名 | 発言要旨                                       | 対応・検討状況（予定含む）                                          |
|-------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 御船委員  | ○ラジウムリエは現在70名が活躍している、三朝温泉に関わる人が取得          | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇町民ラジウムリエ資格取得応援・育成に記載しました。 |
|       | ○医学的、放射能の専門的な話、お客との話などを学ぶ                  |                                                        |
|       | ○仕組みは運転免許、そこから目指せレーシングドライバーのようにブラッシュアップも必要 |                                                        |

Q：三朝町のラドン濃度

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                                                                                                             | 対応・検討状況（予定含む）                                                                                            |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岡崎委員  | ○濃度は100になったり10、200になったりするもの                                                                                                                      | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー〇三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー〇三朝温泉の情報発信強化<br>に記載しました。 |
|       | ○鳥大と研究して、アトピー性皮膚炎の改善効果と皮膚バリア効果は数字、表がある、資料は出せる                                                                                                    |                                                                                                          |
| 御船委員  | ○三朝温泉のラドン濃度は医学的に一番バランスの良い濃度、そこにいだけで恩恵を享受できる                                                                                                      | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備に記載しました。<br><br>温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。 |
|       | ○温泉病院の施設もいいものがある、温泉医療の先生もいて、町民に還元していく仕組みを作るっていうのが、この趣旨の中にある                                                                                      |                                                                                                          |
|       | ○ビジネスとして考えるなら、スポーツ医療ということで、超一流サッカー選手の受け入れの仕組みも、日本のトップクラスの先生も来てもらう、栄養学の先生も来てもらう、スポーツ医学の先生も来てもらう。そのぐらいのレベルでないといけなくなってくると、目指す価値はある（うまくやればできないことはない） |                                                                                                          |
| 藤井課長  | ○温泉を使ったりハビリは医療、温泉で体操するのはインストラクター                                                                                                                 | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                                                      |
|       | ○商売としてするなら医学の充実、医療に注力する必要がある                                                                                                                     |                                                                                                          |
| 御船委員  | ○町内のラドン濃度、地域で濃淡、季節や天候にも左右されるが、地質学等の研究をしてみることもあり                                                                                                  | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備に記載しました。                                            |
|       | ○ラドンは、小川にもあるから、知らないうちに享受される                                                                                                                      |                                                                                                          |
| 藤井課長  | ○ラドンは、町内30箇所調べたらどこにもラドンはある。大小ありで                                                                                                                 | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備に記載しました。                                            |
| 岡崎委員  | ○職員としても温泉の勉強をして、使わせてもらうようなことに                                                                                                                    |                                                                                                          |
| 御船委員  | ○稲が育って、水が回って土地があって、そういう時に刺激を受けながら、育ってる米の意味。米の中には放射線が残ってない、安全                                                                                     | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備に記載しました。                                            |

Q：三朝温泉のミュージアム

| 委員等氏名 | 発言要旨                                                      | 対応・検討状況（予定含む）                       |
|-------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 御船委員  | ○日本人と温泉は切っても切れない関係                                        | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。 |
|       | ○温泉文化を上手に活かした健康づくり、まちづくりも一つの手                             |                                     |
|       | ○役場職員含めて知ることでもっと利用につながり、自分にとっての使い方、活かし方になり、そのベストミックスした仕組み |                                     |
|       | ○温泉文化の知識、設備、今あるものをどう活かすか                                  |                                     |

Q：最後に一言ずつ

| 委員等氏名   | 発言要旨                                    | 対応・検討状況（予定含む）                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アントニー委員 | ○三朝町が心と体のリハビリの町、いいアイデア                  | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー〇三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー〇三朝温泉の情報発信強化<br>に記載しました。    |
|         | ○三朝温泉歴史を守りながらアップデートして、今の時代に必要なものに（発信方法） |                                                                                                             |
|         | ○方向性の共有（観光と健康）                          |                                                                                                             |
|         | ○町民の三朝温泉の良さをどこまで知っているのか、疑問              |                                                                                                             |
| 御船委員    | ○三朝温泉の知識を持ってほしい（微弱放射能によるホルシミス効果）        | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉の効能等をまとめたミュージアム機能を整備<br>〃 ー〇三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>に記載しました。<br><br>担当課において、検討中です。 |
|         | ○赤ちゃんへの活用（おむつかぶれ）                       |                                                                                                             |
| 岡崎委員    | ○リハビリ健康は、町民にもいえる                        | ①“三朝温泉”を知ることによる温泉活用への動機をつくるー〇三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー〇三朝温泉の情報発信強化<br>に記載しました。                                    |
|         | ○三朝町民は怪我をしても早く治る、効果があることをもっとPRする        |                                                                                                             |

|      |                                                                                  |                                                                           |
|------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 山内委員 | ○身近な町民の方にとっても、温泉が身近なものとなるような取り組みを考える                                             | ① “三朝温泉”を知ることに伴う温泉活用への動機をつくるー○三朝温泉を学ぶ機会を創出<br>〃 ー○三朝温泉の情報発信強化<br>に記載しました。 |
| 米田委員 | ○町民の声として、入りたい温泉になかなか入れない<br>○町民価格以外の取り組みがあれば                                     | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                       |
| 御船委員 | ○プレゼントとして、泊まりで家族を招待してあげるぐらいのことを考えてもいい。旅館の良さもわかりつつ、理解もでき、良さがわかってもらえる成功体験があれば次に繋がる | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後も検討していきます。                                       |

委員コメントへの対応・検討状況について【書面】 資料3

Q：普段感じておられる温泉と健康、自分の健康づくり

| 委員等氏名   | 発言要旨                                                                  | 対応・検討状況（予定含む）                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| アントニー委員 | ○たまわりの湯がなくなると、公衆浴場が必要になってくる<br>○お風呂+αが必要になってくる（鉱泥湿布体験、心と体のケアになるものが理想） | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備<br>〃 ー○相互補完の仕組み構築<br>に記載しました。 |
| 松田委員    | ○町民の健康づくりのための支出実態が知りたい                                                | 現時点では、不明。今後、健康づくり政策における計画を作成する際には調査項目とすることを検討します。   |
|         | ○他市町より安価な料金設定となれば、利用促進につながる                                           | 温泉を活用した健康まちづくり事業の全体のなかで今後検討していきます。                  |
|         | ○いつでも誰でも利用できる温泉施設                                                     |                                                     |
|         | ○ラドン温泉プール                                                             | ③入浴等施設を整備するー○入浴等施設の整備                               |
| 米田委員    | ○温泉と食事処が併設されたスペースをつくり、運動ができる公園、ジム、バーベキューができる場所の併設                     | 〃 ー○相互補完の仕組み構築                                      |
|         | ○マルシェ、ファーマーズマーケット等の開催                                                 | 〃 ー○特産品（食）との連携<br>に記載しました。                          |

## 「温泉を活用した健康まちづくり」基本構想の策定に向けて出された意見

第2回三朝町温泉を活用した健康まちづくり事業ワーキンググループ会議終了後、3人の委員から書面で意見をいただきました。

以下、その意見を紹介します。

### 松田委員（健康部会）

三朝町民の健康づくりのための支出に関する実態について確認ができれば知りたい  
※例えば倉吉市内のジムで運動をする人が、新設される施設でより安価に健康づくりができるとなれば利用を促すことができるのではなかろうかと考えました

### 米田委員（温泉部会）

#### 【『町民健康リゾートランド（仮）』をつくる】

町民が友人・知人といつでも会って話ができる場所やいつでも誰でも利用できる温泉施設があれば良いと考える。

また、ラドン温泉プール(他には無い強みとなる)があれば良いと考える。

※鉦泥湿布は予約制限がある為、その代わりになると思う

温泉とカフェ（食事処）が併設されてるコミュニティスペースを作り、同施設にグランドゴルフ等できる「運動ができる公園」や「ジム」、「バーベキュー」ができる等の場所を併設し、運動後に温泉に入って、食事ができる施設があればより町民が温泉を楽しめ、健康につながると思う。

また、施設で年間を通して「マルシェ」や「ファーマーズマーケット」等、開催し、地産地消につなげる。

※最初はふるさと健康村で試験的に開催（週末）だけとかで試してみても良いと思います。

※「三朝 sun sun bus」をもっと活用できる。

町外や県外の方や旅館の宿泊客等もターゲットにしたら、三朝町に人が来る・温泉の魅力を今以上に発信できる・雇用が生まれる等メリットがあると思います。

前回の会議に「ラジムリエ」のお話でしたが、上記のような場所ができれば、今以上に活躍ができると考えます。

下記、一例です。

大阪府茨城にある 「すみれの湯」

鳥取県米子市にある 「オーシャンズ」

等、県内・県外には「スーパー銭湯」・「日帰り温泉」ができる施設があります。

## アントニー委員（温泉部会）

観光部会では施設の話があまりでなかったのですがいただいていた事前質問と健康部門の議事録を読むと、施設づくりが視野に入っているようです。たまわりの湯がなくなるとすると、公衆浴場が必要になってきます。

お風呂を作った場合、+αが必要かと思います。お風呂だけでなく、例えば同じ場所で鉱泥湿布体験か、他に心と体のケアになるものがあると理想かなと思います。もちろん誰がするという話になってしまいますが。

また、たまたまラドン温泉であるバドガシュタインのHPをみたらなかなかおもしろいものがありました。ラドン熱気（蒸気）カプセルみたいなものです。カプセルに入ってラドン温泉の蒸気を体にかけて、皮膚からラドンと成分が入るようです。皮膚に良くて体への負担が少ないようです。・・・以下、写真のとおり



## 「温泉を活用した健康まちづくり」基本構想の策定に向けての意見

※意見等あれば、令和5年2月10日(金)までに企画課までお知らせください。

委員氏名 \_\_\_\_\_

(自由に記入ください)